

知基第248号
令和6年3月22日

内閣総理大臣
岸田 文雄 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



オスプレイの飛行再開について（抗議）

令和6年3月8日に運用停止措置が解除されたオスプレイについては、同月14日、普天間飛行場において離陸が確認されました。

県は、オスプレイについて、昨年11月に発生した屋久島沖での墜落事故の原因や対策が明らかになるまで、飛行を停止するよう、再三求めてきたにもかかわらず、飛行が再開されたことに強い憤りを禁じ得ません。

政府は、オスプレイの運用を安全に再開できるとしておりますが、去る11日及び13日の沖縄防衛局から事故原因の特定及び安全対策に関する説明では、事故原因や対策の具体的な内容は明らかにされず、県として到底納得できるものではなく、十分な説明があったと言えるものではありません。

そのような中、県内において、飛行再開された当日、延べ13機ものオスプレイが離陸し、市街地上空の飛行も確認されております。日米両政府で確認したとされる、同機の運用を段階的かつ慎重に進めることについて、基本的な飛行というものがこのような状況を指すのであれば、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

県としては、オスプレイに対する県民の不安は一向に払拭されていないと考えており、飛行再開について、強く抗議するとともに、オスプレイの配備撤回と今回の事故原因が具体的に明らかにされるまでの間の飛行の停止を求めます。

知基第248号
令和6年3月22日

内閣官房長官
林 芳正 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



オスプレイの飛行再開について（抗議）

令和6年3月8日に運用停止措置が解除されたオスプレイについては、同月14日、普天間飛行場において離陸が確認されました。

県は、オスプレイについて、昨年11月に発生した屋久島沖での墜落事故の原因や対策が明らかになるまで、飛行を停止するよう、再三求めてきたにもかかわらず、飛行が再開されたことに強い憤りを禁じ得ません。

政府は、オスプレイの運用を安全に再開できるとしておりますが、去る11日及び13日の沖縄防衛局から事故原因の特定及び安全対策に関する説明では、事故原因や対策の具体的な内容は明らかにされず、県として到底納得できるものではなく、十分な説明があったと言えるものではありません。

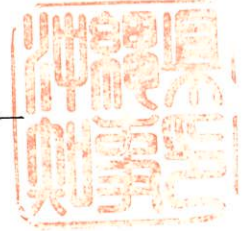
そのような中、県内において、飛行再開された当日、延べ13機ものオスプレイが離陸し、市街地上空の飛行も確認されております。日米両政府で確認したとされる、同機の運用を段階的かつ慎重に進めることについて、基本的な飛行というものがこのような状況を指すのであれば、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

県としては、オスプレイに対する県民の不安は一向に払拭されていないと考えており、飛行再開について、強く抗議するとともに、オスプレイの配備撤回と今回の事故原因が具体的に明らかにされるまでの間の飛行の停止を求めます。

知基第248号
令和6年3月22日

外務大臣
上川 陽子 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



オスプレイの飛行再開について（抗議）

令和6年3月8日に運用停止措置が解除されたオスプレイについては、同月14日、普天間飛行場において離陸が確認されました。

県は、オスプレイについて、昨年11月に発生した屋久島沖での墜落事故の原因や対策が明らかになるまで、飛行を停止するよう、再三求めてきたにもかかわらず、飛行が再開されたことに強い憤りを禁じ得ません。

政府は、オスプレイの運用を安全に再開できるとしておりますが、去る11日及び13日の沖縄防衛局から事故原因の特定及び安全対策に関する説明では、事故原因や対策の具体的な内容は明らかにされず、県として到底納得できるものではなく、十分な説明があったと言えるものではありません。

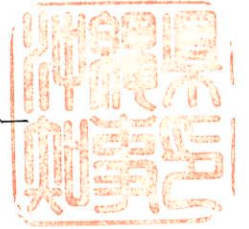
そのような中、県内において、飛行再開された当日、延べ13機ものオスプレイが離陸し、市街地上空の飛行も確認されております。日米両政府で確認したとされる、同機の運用を段階的かつ慎重に進めることについて、基本的な飛行というものがこのような状況を指すのであれば、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

県としては、オスプレイに対する県民の不安は一向に払拭されていないと考えており、飛行再開について、強く抗議するとともに、オスプレイの配備撤回と今回の事故原因が具体的に明らかにされるまでの間の飛行の停止を求めます。

知基第248号
令和6年3月22日

防衛大臣
木原 稔 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



オスプレイの飛行再開について（抗議）

令和6年3月8日に運用停止措置が解除されたオスプレイについては、同月14日、普天間飛行場において離陸が確認されました。

県は、オスプレイについて、昨年11月に発生した屋久島沖での墜落事故の原因や対策が明らかになるまで、飛行を停止するよう、再三求めてきたにもかかわらず、飛行が再開されたことに強い憤りを禁じ得ません。

政府は、オスプレイの運用を安全に再開できるとしておりますが、去る11日及び13日の沖縄防衛局から事故原因の特定及び安全対策に関する説明では、事故原因や対策の具体的な内容は明らかにされず、県として到底納得できるものではなく、十分な説明があったと言えるものではありません。

そのような中、県内において、飛行再開された当日、延べ13機ものオスプレイが離陸し、市街地上空の飛行も確認されております。日米両政府で確認したとされる、同機の運用を段階的かつ慎重に進めることについて、基本的な飛行というものがこのような状況を指すのであれば、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

県としては、オスプレイに対する県民の不安は一向に払拭されていないと考えており、飛行再開について、強く抗議するとともに、オスプレイの配備撤回と今回の事故原因が具体的に明らかにされるまでの間の飛行の停止を求めます。